

会員数	33,972	(前月比) + 78
郵送	8,598	(前月比) - 5
手配り	25,304	(前月比) +1443

協同基金到達額 2,276,178,000円(6/30現在)
 [前月比 13,304,000増]
 協同基金出資者数 11,830名(6/30現在)
 いのちを守る助け合い募金額 26,556円(6/1~30)



発行
健康友の会 みみはら
 民医連 本部事務局組織部
 機関紙編集委員会
 〒590-0824
 堺市堺区老松町2丁58-1
 Tel.072-244-8061
 Fax.072-244-7860

1部30円

訪問の機会を増やして もっと地域へ



建設中の新病院を見上げる公園に集合 (行動前に新病院の見学も行われました)



訪問に参加する外科・山口部長(右)と今井医師(中)

耳原総合病院建設にむけ 大地域訪問行動

大地域訪問行動が7月12日に開催され、大阪民医連からの参加者80人も含め、約250人の行動となりました。

医師・看護師の養成などで耳原総合病院は、大阪民医連センター病院としての役割を果たしています。総合病院建て替えにあたり、大阪府内の民医連事業所から励ましの支援を送ることなどを目的に行われました。

職員からも、各診療科部長をはじめ医師10人、看護師約30人などが参加し、友の会の組織率が低い地域を重点的に訪問。12台の送迎車両に乗り込み、103隊が行動に参加しました。行動の中で新規入会が6人、基金協力が2人生まれました。

(安井町内)で、医療への関心が低く、総合病院の立て替えを知らない方が多かった。病気になるたときや健診での利用もあるので、このような訪問の機会を増やすことも大切では」と話します。



それぞれの隊が順番に送迎車両に乗り込みます

高石中央支部の大西さんは「若い世帯が住む地域

訪問報告書から一部紹介します。
 ○安井町周辺では耳原総合病院建設の情報が浸透していない。
 ○耳原利用者はいるもの

少ない。
 ○救急受診などの評判から好感を持って受け止められている。
 ○子どもの病室は清潔感がある病院になっている。

説明会開催

風の伝言プロジェクト

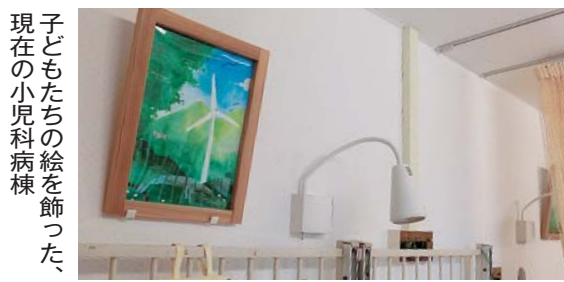
あなたの作品を新病院に患者・利用者・医療者への「希望の灯」として

院の外から、風の伝言として、多くの皆さまな「希望の灯」を届けることが目的です。
 病とたたかう患者・医療者への応援として、あなたの思う「希望の灯」をお寄せください。A4

院建設事務局「アート&癒しの空間プロジェクト」
 〈募集作品〉
 絵画・写真・切絵・版画
 ・押花・布・イラスト・タペストリーなど、未発表の作品

新病院の病室やラウンジをかざる作品を募集します。
 治療のための入院生活を送る方や外来診療、健診を利用される方に、病

判サイズ平面作品で形態は特に問いません。
 2000程度の作品を新病院に掲示する計画です。よろしくお願ひします。(耳原総合病院・新病院まで)



子どもたちの絵を飾った、現在の小児科病棟

聴診器

8月は戦争の記憶を呼び覚ます月です。6日に広島、9日に長崎への原爆投下、そして15

日は無条件降伏による終戦の日です。高齢者にとっては空腹と物不足の苦しみ、さまざま悲しみを思い起こす月でもあります。筆者の場合は2人の大切な兄を戦死で失ったつらい体験がよみがえります▼10数年前上京した折りに兄達が祭られているとされる靖国神社を訪れました。そこに兄が眠っていると考えない私にはもちろん参拝せず、靖国の付属施設である「遊就館」という軍事博物館を見学しました。勇壮な軍艦マーチが流れ、ピカピカに磨かれた砲弾など武器類や血染めの軍服が展示されています。説明文に太平洋戦争という文字はなく、大日本帝国時代の大東亜戦争という表現です。私が体験し、戦後学んだ当時の歴史とあまりにかけ離れた展示や説明に気分が悪くなりました▼この靖国神社に安倍首相や大臣たちだけでなく、一部の民主党議員を含む多数の国会議員が隊列を組んで参拝するものが恒例行事となっています▼靖国参拝については中国・韓国だけでなく同盟国アメリカからも厳しく批判されています。8月は高齢の方から貴重な戦時体験を聞かせてもらい、近代の日本や世界の歴史を学びなおす機会にしたいものです。

武田 末男